

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 12 日

事務事業名		雨引の里と彫刻展補助事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030201000625	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090601	
政策体系	総合計画の施策名	0302 生涯学習・芸術文化活動の推進				主要事業		生涯学習課		
	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト				
	施策名	02 生涯学習・芸術文化活動の推進				未来PJ事業		グループ	文化振興G	
	基本事業名	01 生涯学習及び芸術文化活動機会の充実				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	05	03	01	00	文化振興事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
旧大和村から継続している隔年開催の芸術作品の展覧会であり、平成27年度に第10回目を迎えた。開催前には毎月実行委員会を開催し、会議に同席し適切な助言を行い、補助金事務を執行することが主な職務である。	開催に向け実行委員会に出席。 事業開催の周知と問い合わせ窓口担当 作品展示場所の地権者交渉 会期イベントへの活動支援。助成。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
開催に向け実行委員会に出席。 事業開催の周知と問い合わせ窓口担当 作品展示場所の地権者交渉 会期イベントへの活動支援。助成。	会期日数	日	0.00	72.00	0.00	72.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市民及び市外鑑賞者等	市民		0.00	42,651.00	0.00	42,165.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
日常生活の環境へ芸術作品を展示することにより芸術鑑賞の機会を身近なものにする。	参観者		0.00	1,660.00	0.00	2,000.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	5,000	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	1,000	0
	事業費計 (A)	千円	0	5,000	0	1,000	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
	述へ業務時間	時間	0.00	335.25	20.00	300.00	20.00	
	人件費計 (B)	千円	0	973	58	870	58	
トータルコスト (A) + (B)		千円	0	5,973	58	1,870	58	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	5,000				
	合計	5,000				0

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	雨引の里と彫刻展補助事業	事務事業No.	30201000625	所属課	生涯学習課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 旧大和村に創作活動の拠点を置く彫刻作家たちが石材から芸術作品を生み出す過程で、地域の方々に自分たちの活動を知ってもらおうと共に地域における芸術への価値観を根ざしていきたいという思いで発足した事業。作家自らが企画立案運営まで行い、行政は支援する形をとっている。開始当初から21年が経過し、地域に対し知名度も上がってきている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 何をイメージしたものなのか分からないなど、作品の意図が知りたい。
 交通手段が乏しい地域なので、期間中の交通手段を検討してもらいたい。
 作家との交流がないと理解できない。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市独自の魅力ある芸術文化活動の充実として存在価値がある
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	日常生活の環境へ芸術作品を展示することにより芸術鑑賞の機会を身近なものにするために、行政が事業への支援を行う価値がある
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	開催の意図を芸術鑑賞の場にだけ留まらず、子供たちや一般市民の芸術学習の場の創造に繋がれると価値が高まる
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	一流の芸術を身近に感じられる貴重な機会であり、地元根付きつつある芸術に親しむ場を失う可能性が高い
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 類似事業がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	行政を離れた民間主体の事業展開を目指す。そのためには地域ボランティアなどの行政支援策として作家と地域を結ぶためのかけはしが必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	広く周知することにより遠方からの来訪者も多い。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効な施策準備を行うためには、実行委員会の準備開始時期を半年以上早める必要がある。今後の実行委員会の方向性によっては補助事業として行うべきか再検討する可能性がある。改革改善策の実現には、担当部署を企画課に変更する必要性を検討すべきである。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内教育機関(小中学校・高校など)へ事業の啓発活動を行う。 地域連携事業としての新たな企画イベントや活動連携を行う。 芸術作品への価値観や関心の育成。 連携できる事業内容の検討と連携体制の確立	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ③																						
コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>